



#### ②③ 有野川橋（下部工）工事

山陽自動車道と新名神高速道路を接続する中高架橋の橋脚工事を行っています。既に供用されている路線（写真・左・右）の中間部に橋脚を構築しており、限られたスペースの中でも効率的に施工できるよう工夫して施工しています。

中高架橋梁

#### ⑱ 生野中工事

生野中工事用道路が平成25年1月に完成しました。高速道路の工事を行うために一般道路から本線工事現場までの取り付け道路などを整備し、この道路を使って、神戸市域から発生する土を宝塚市域に運搬します。

生野中工事用道路

#### ⑰ 武庫川橋工事

二級河川武庫川を横過する橋梁工事です。現在、4基ある橋脚のうち3基を先行施工しており、高さ約80mの柱が立ち上がっている状況です。今後は、やじろべいのように左右のバランスをとりながら、橋桁の施工を行っていきます。

武庫川橋

#### ⑬ 坊川第三橋工事

宝塚SA建設予定地の東側に位置する本線橋梁工事です。現在、川西市・猪名川町域からの土を運搬する仮橋の施工を行っています。本工事では、この仮橋を利用して橋脚部分の施工を行います。

坊川第三橋梁（仮橋）

#### ⑧ 猪名川東工事

猪名川町域東側の高速道路、付替町道、付替河川等を構築する工事です。現在、工事用道路として使用する予定の本線橋梁工事を先行施工しており、並行して広根地区の盛土工事を行っています。

広根地区盛土場

#### ② 川西トンネル工事

川西市東畦野地区における切盛土工及び橋梁下部工を含むトンネル工主体の工事です。現在、トンネル掘削を開始する前に西坑口部分の地山改良工事を行っています。

川西トンネル西坑口

地元の皆さんのご協力をいただきながら工事を進めています。

## 新名神高速道路 現場の声（第6回）

～ 川西インターチェンジ工事 現場代理人 川崎氏と川西工事長 上原へのインタビュー ～

第6回の『新名神高速道路 現場の声』。今回は、「川西インターチェンジ工事」現場代理人の川崎氏と、NEXCO西日本 新名神兵庫事務所 川西工事区 工事長の上原に川西インターチェンジ工事の状況などについてお聞きします。

**Q：川西インターチェンジ工事の内容と現在の状況を教えてください。**

（上原）  
 本工事は、新名神高速道路が通過する川西市域西側の高速道路本線・川西インターチェンジ・付替市道と県道川西インター線の受託工事を含む工事で、延長1,400m、切盛土：約220万m<sup>3</sup>、橋台・橋脚24基、横断構造物C-BOX 3箇所工事です。

この川西インターチェンジは西畦野地区と石道地区の間の丘陵部に位置しており、県道川西インター線事業と合わせて、整備を進めています。

現在は川西インターチェンジ予定地の立木伐採を概ね完了し、丘陵部の土を切り出す前の準備作業を行っています。また、一級河川一庫大路次川の上を跨ぐ橋梁部について、河川内に構築する橋脚工事も行っています。

（川崎）

平成24年7月から行政関係機関の方にもご出席頂きながら、沿線地元自治会の方々への工事説明を行い、計画通り昨年8月から建設予定地の立木伐採の施工を開始することができました。

工事完成までの約3年の間、近隣住民の皆様のご意見やご要望を現場に反映させながら、工事によるご迷惑が最小限となるよう工事を進めていきたいと考えています。

**Q：川西インターチェンジ工事で気をつけているところ、難しいところは？**

（上原）

本工事は、進入路が限られていることから、事業にご理解いただき沿線住民の方々へ十分な説明を行いながら工事を進めていきたいと考えております。



川西工事長 上原 ※

（川崎）

本工事でもっとも留意すべき点は、環境保全対策、第三者災害の防止、資機材運搬及び土運搬ルートにおける規制速度等交通ルールの順守であると強く認識しております。このことを踏まえ「沿線住民への十分な配慮と無事故・無災害」を目標として掲げ、施工業者全員で意識の統一を図ります。特に一般の方が通行される場所では、地元車輛を最優先にして、安全な工事車輛の運行管理に努めます。

本工事においては、近隣住民の皆様への騒音・振動等の抑制を図るべく国道173号を優先的に利用した車輛運行を計画しており、環境基準についても十分なチェックを行いながら確実な施工を進めていきたいと思っております。

**Q：河川内の橋脚工事はどのように施工するのですか？**

（上原）

河川内橋脚の構築に当たっては、まず河道の一部を締切する必要があります。本工事においては、河川内に設けた仮設構台からクレーン車を使用して大型土のうを積み上げて河川内の締切を行っています。

その後、締切り内の水を排水して橋脚の基礎部を施工していきます。基礎部の工事が完了した後は、鉄筋やコンクリートを使用して柱部分を立ち上げていきます。一連の作業完了後、締切りで設けた大型土のうや仮設構台を撤去していきます。

河川内の作業は、河川の水が比較的少ない時期（11月～翌5月）にしか施工できないということもあって、現場では工程管理を密に行いながら施工を実施しております。

**Q：川西インターチェンジ工事の独自の取組はありますか？**

（川崎）

当工事では、約220万m<sup>3</sup>の土砂等を掘削しダンプトラックを用いて盛土場所まで運搬しますので、GPSによる運行管理を取り入れていく予定です。これは工事車輛のルート逸脱防止や速度超過への警告を行うシステムで、運転者の安全意識をより一層高めてまいります。

また、橋梁の基礎掘削工事については、本来発破を用いて行う工法から静的破碎工法という振動・騒音が軽減される工法に変更を行い、現場周辺環境への配慮に努めております。

安全第一はもとより、地域の方々にご理解頂ける仕事を行うことをモットーに職員・作業員一同、将来皆様方が安全にそして安心して利用頂けるインターチェンジを完成すべく、気持ちを一つにして施工してまいります。

今後とも、多方面の方々のご指導、ご鞭撻をいただき頑張っていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



現場代理人 川崎氏



橋脚部の施工（一庫大路次川）



※川西工事長 上原は平成24年4月1日付けで九州支社北九州高速道路事務所工務第一課に異動しました。